



Humanware By Systemware

2015年3月期 決算説明会

2015年5月12日

日本システムウェア株式会社

代表取締役執行役員社長 多田 尚二

1. 前期業績

2. 今期計画と重点施策

Humanware By Systemware

1. 前期業績

連結業績概要

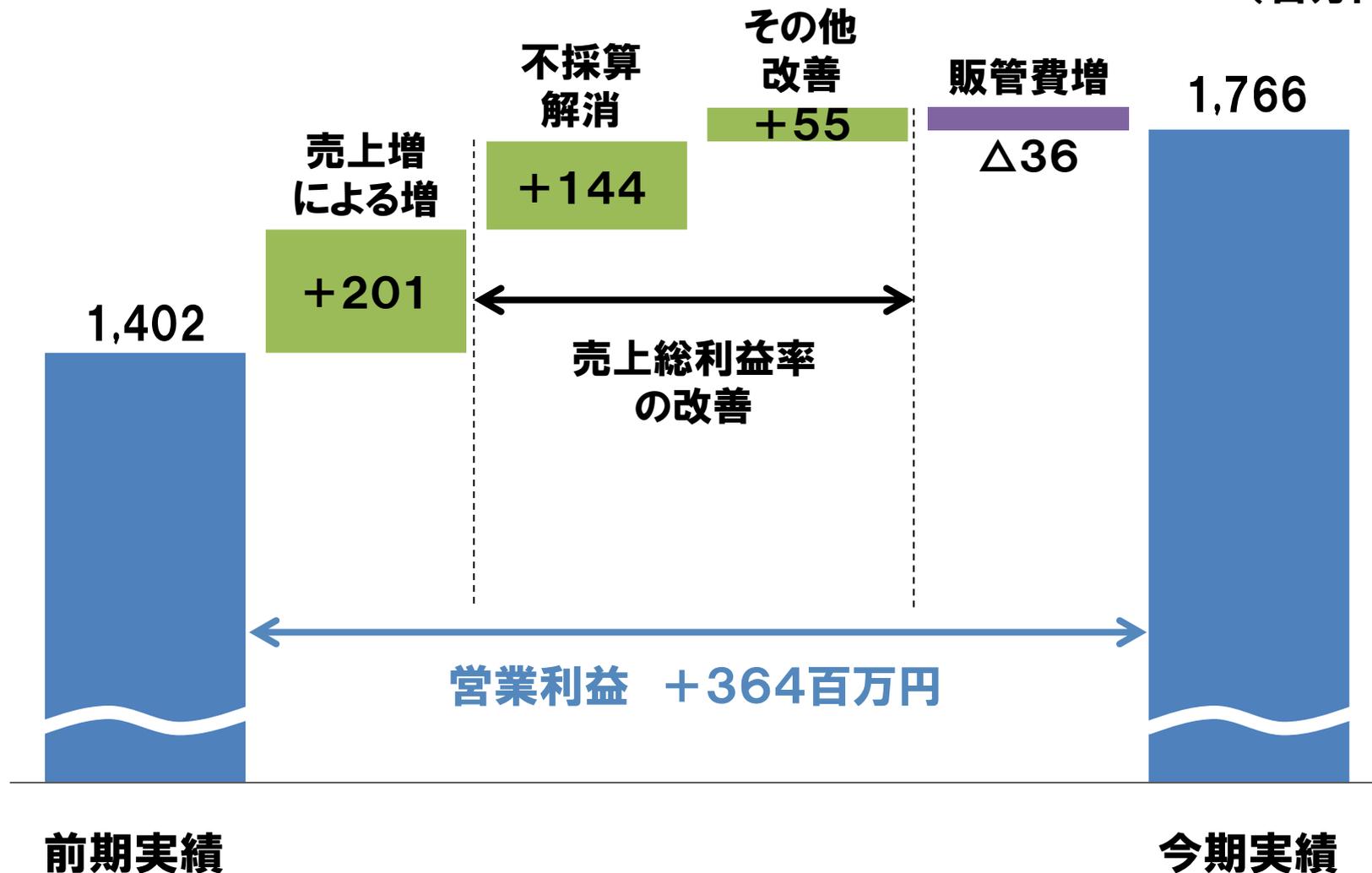
(単位:百万円)

	2014/3期 実績	期初計画	2015/3期		
			実績	前期比 (増減率)	計画比 (増減率)
売上高	26,944	28,000	28,163	+4.5%	+0.6%
営業利益	1,402	1,500	1,766	+26.0%	+17.8%
同率	5.2%	5.4%	6.3%	+1.1p	+0.9p
経常利益	1,413	1,500	1,866	+32.1%	+24.4%
同率	5.2%	5.4%	6.6%	+1.4p	+1.2p
当期純利益	904	900	1,016	+12.5%	+13.0%
同率	3.4%	3.2%	3.6%	+0.2p	+0.4p

- 売上高:主にプロダクトソリューション事業が牽引し、増収。
- 利益:売上増による利益増、生産性改善などが寄与し、増益。

営業利益の差異 前期比

(百万円)



セグメント別業績

Systemware

(単位:百万円)

		2014/3期 実績	期初計画	2015/3期		
				実績	前期比 (増減率)	計画比 (増減率)
IT ソリューション	売上高	16,794	17,500	16,952	+0.9%	△3.1%
	営業利益	590	800	699	+18.5%	△12.5%
	同率	3.5%	4.6%	4.1%	+0.6p	△0.5p
プロダクト ソリューション	売上高	10,149	10,500	11,211	+10.5%	+6.8%
	営業利益	812	700	1,067	+31.3%	+52.4%
	同率	8.0%	6.7%	9.5%	+1.5p	+2.8p

- 【IT】売上は微増収も、不採算案件解消等により増益。
- 【プロダクト】増収増益。既存顧客案件の維持・拡大が奏功。

ITソリューション事業 概況(1)

事業区分別売上高

(単位:百万円)

ITソリューション	2014/3期 実績		2015/3期 実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
ソリューション事業	9,641	57.4%	9,812	57.9%	+171	+1.8%
システム運用事業	2,451	14.6%	2,544	15.0%	+93	+3.8%
データセンター事業	2,772	16.5%	2,749	16.2%	△22	△0.8%
システム機器販売	1,862	11.1%	1,811	10.7%	△51	△2.8%
その他	67	0.4%	34	0.2%	△33	△48.9%
合計	16,794	100.0%	16,952	100.0%	+157	+0.9%

ITソリューション事業 概況(2)

ソリューション事業・システム機器販売

- 流通業(卸・小売、物流)向けPKGベースソリューションが伸長。
- 金融・保険業向けは前期の不採算案件を解消するも、大型開発案件が一段落。
- 官公庁向け開発案件が拡大。

システム運用事業・データセンター事業

- 官公庁・団体向け運用案件が伸長。
- 前期、金融・保険業向けハウジング案件の縮小
- 遠隔監視サービス開始、クラウド・M2M関連サービス拡充で補う
- コスト構造見直し、固定費を圧縮。利益面も改善。

プロダクトソリューション事業 概況(1)

事業区分別売上高

(単位:百万円)

プロダクト ソリューション	2014/3期 実績		2015/3期 実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
組込みソフトウェア 開発事業	6,507	64.1%	7,262	64.8%	+754	+11.6%
デバイス開発事業	3,497	34.5%	3,762	33.6%	+264	+7.6%
その他	144	1.4%	186	1.6%	+41	+29.0%
合 計	10,149	100.0%	11,211	100.0%	+1,061	+10.5%

プロダクトソリューション事業 概況(2)

組込みソフトウェア開発事業

- 通信インフラ分野、需要増に対応した開発体制の拡大
- オートモーティブ分野、ADAS(先進運転支援システム)案件参入
- 設備機器分野、M2Mやエネルギー管理連携ソリューション提供
- モバイル分野、通信キャリア向け案件やウェアラブル端末を活用したヘルスケア関連案件が増加

デバイス開発事業

- 設計技術強化とPJ体制増強による既存顧客の維持・拡大
- 得意分野の選択と集中、業務効率化による収益性向上
- 高位設計、次世代高性能MCU(※)開発などで新分野参入

※MCU(Micro Controller Unit) : マイクロプロセッサベースの制御装置。
ワンチップで1つのシステムとして機能するSoCの一種。

経営・財務指標の推移

	2014年3月期 期末	2015年3月期 第2四半期末	2015年3月期 期末
流動比率	187.9%	198.9%	232.5%
固定比率	77.0%	72.2%	66.5%
有利子負債依存率	8.6%	5.7%	0.0%
デット・エクイティ比率	0.13倍	0.09倍	0.00倍
自己資本比率	63.7%	64.0%	65.7%
一株当たり当期純利益	17.12円	60.68円	68.25円
一株当たり配当金	7.50円	7.50円	7.50円

➤ 期末時点で有利子負債依存率ゼロに。

Humanware By Systemware

2. 今期計画と重点施策

(事業環境)

- 雇用や企業収益に改善の動き、緩やかな回復基調が続く
- 一方、海外景気下振れや原油価格変動の影響等のリスクも

(業界動向)

- 2020年に向けた需要増、IT投資回復による人手不足が顕著に
- 様々な業界と連携し、新サービスや新ビジネス創出の動き



新たなビジネス創出、価値創造を継続

事業構造の変革

最終年度

既存事業に続く、新たな柱となるビジネスモデルを構築する。
戦略的投資により、新市場における事業拡大やコア技術の創出に取り組む。

① 『サービス事業』の強化・拡大

② 事業領域の拡大、サービスの共創

③ 既存事業基盤の整備・強化

グループ経営目標

(単位:百万円)

	2015/3期 実績	2016/3期 計画	前期比	
			増減額	増減率
売上高	28,163	29,000	+836	+3.0%
営業利益	1,766	1,800	+33	+1.9%
同率	6.3%	6.2%	△0.1p	
経常利益	1,866	1,800	△66	△3.6%
同率	6.6%	6.2%	△0.4p	
当期純利益	1,016	1,000	△16	△1.7%
同率	3.6%	3.4%	△0.2p	

- ▶ 今期はITソリューションセグメントでの収益力改善を図る。
- ▶ 新たなサービス事業の創出に向けての先行投資も継続。

セグメント別事業目標

(単位:百万円)

		2015/3期 実績	2016/3期 計画	前期比	
				増減額	増減率
IT ソリューション	売上高	16,952	17,500	+547	+3.2%
	営業利益	699	800	+100	+14.3%
	同率	4.1%	4.6%	+0.5p	
プロダクト ソリューション	売上高	11,211	11,500	+288	+2.6%
	営業利益	1,067	1,000	△67	△6.3%
	同率	9.5%	8.7%	△0.8p	

- 【IT】パッケージベースソリューションや金融・保険業向け、公共・社会インフラ向けを中心に、収益力強化を図る。
- 【プロダクト】既存顧客の維持・拡大、新サービス・新領域へ展開。

ITソリューション 中期事業戦略

ITトータルソリューションサービスの実現 サービス構築型からサービス共創型への変革

クラウドやIoT/M2M
の基盤を核とした
サービス事業推進

パッケージベースの
アセット型SI事業確立

専門業種・業務
ノウハウを活かした
ソリューション提供

高付加価値型
運用・DaaSサービス
（拡大）

ITソリューション事業 今期重点施策

IoT/M2M、クラウド基盤サービス事業の推進と収益化

パッケージベースSI事業の拡大(拡販施策の展開)

金融・保険業向け、官公庁向けソリューションの強化・拡充

運用・DC事業の収益改善と、高付加価値サービスの拡充

New Product Solutionの実現 IoTとサービスによる新たなソリューション提供の拡大

モバイル20、
EMSなどの
新ソリューション提供

既存顧客の深耕、
技術領域の横展開

プロダクトライセンス
販売の拡大

LSI開発における
ワンストップ
ソリューション展開

プロダクトソリューション事業 今期重点施策

既存顧客の維持・拡大(自動車、ネットワーク、半導体ほか)

成長分野への注力(社会インフラ、産業機器、ヘルスケア)

サービス事業展開、プロダクト・ライセンス販売の拡大

IoT/M2M、O2O対応に向けたセンシング技術等の強化

サービス事業 強化・拡大の現状

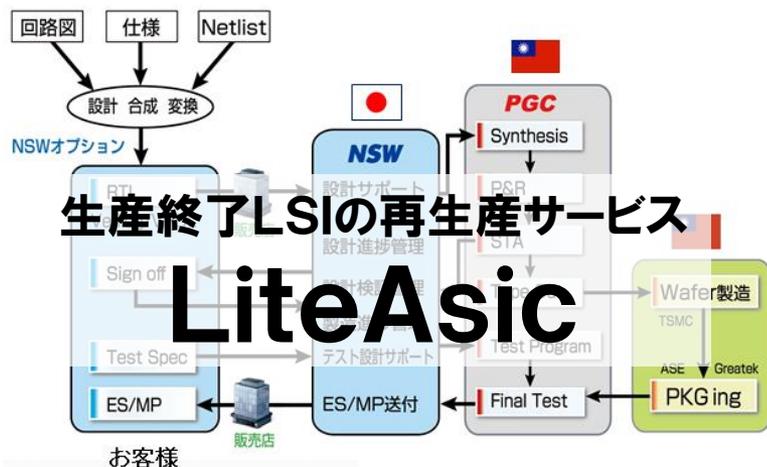
① アセットSIの展開



② 新領域・新市場への進出



③ デバイス事業の展開



④ クラウド、IoT/M2M基盤



今期の注力分野

IoT/M2Mサービス

プラットフォーム「Toami」拡販
+ 垂直統合型サービスの展開



O2Oサービス

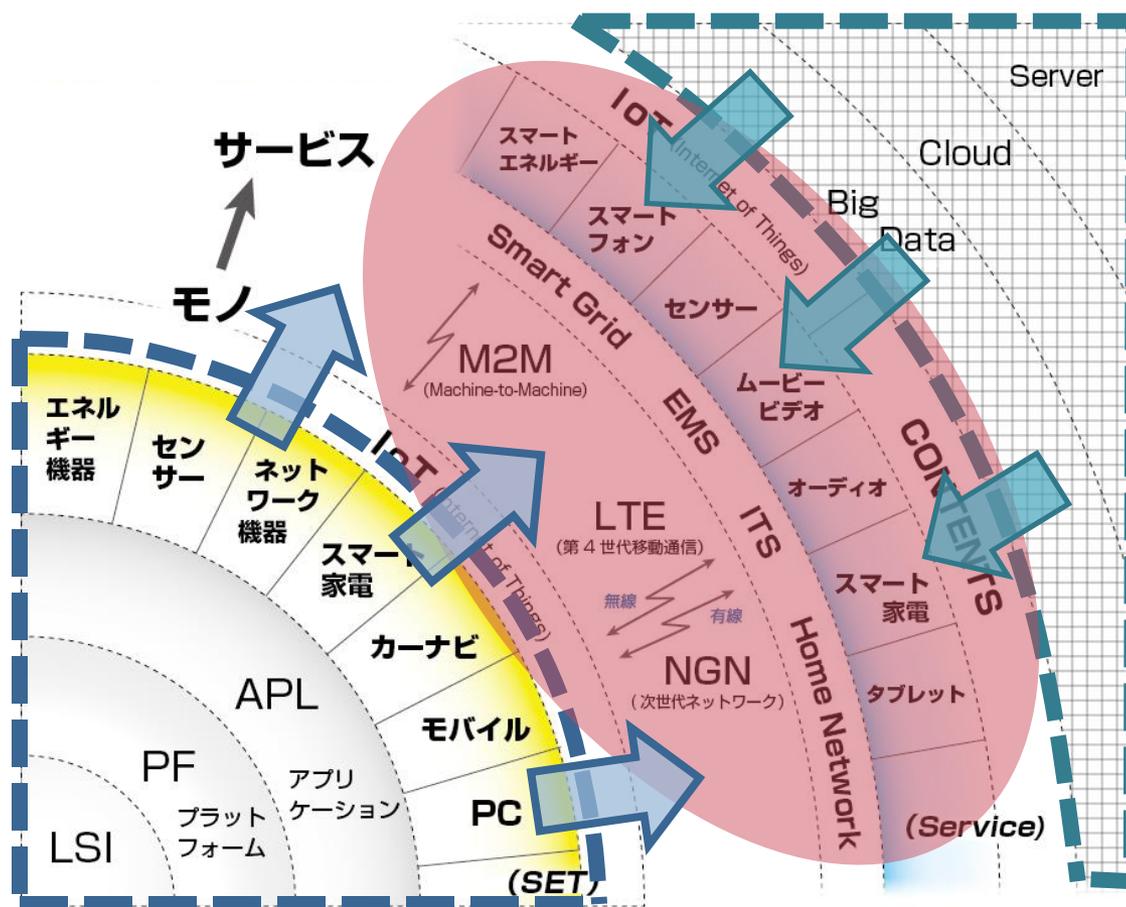
来店誘導の専用アプリを迅速に提供
+ 店舗とネットの統合を最適化



NSW Nextの実現にむけて

事業シナジーの強化

知財をベースとした新事業の一層の推進



おかげさまで



NSW

Humanware By Systemware